

長野市学校給食の概要

令和2年11月24日（火）

令和2年度第一回長野市学校給食センター等運営審議会



長野市教育委員会事務局 保健給食課

○学校給食の目標（学校給食法 第2条）

- 一 適切な栄養の摂取による健康の保持増進を図ること。
- 二 日常生活における食事について正しい理解を深め、健全な食生活を営むことができる判断力を培い、及び望ましい食習慣を養うこと。
- 三 学校生活を豊かにし、明るい社交性及び協同の精神を養うこと。
- 四 食生活が自然の恩恵の上に成り立つものであることについての理解を深め、生命及び自然を尊重する精神並びに環境の保全に寄与する態度を養うこと。
- 五 食生活が食にかかわる人々の様々な活動に支えられていることについての理解を深め、勤労を重んずる態度を養うこと。
- 六 我が国や各地域の優れた伝統的な食文化についての理解を深めること。
- 七 食料の生産、流通及び消費について、正しい理解に導くこと。



○教育としての学校給食

- 一 児童・生徒の心身にわたる健全な発達と、食事マナー、より良い食習慣の習得等を目的に、教育の一環として学校給食を実施する。
- 二 献立作成や食材の発注などを工夫しながら、地産地消の拡大・推進を図るとともに学校訪問等における食育の充実を図る。

1 施設概要

(1) 学校給食センター



センター方式:複数の学校の給食を一括して調理し、給食時間までに配送する方式



区 分	第一学校給食センター	第二学校給食センター	第四学校給食センター
所 在 地	〒381-2206 青木島町綱島763-84	〒388-8002 篠ノ井東福寺2362-1	〒381-0011 大字村山355-1
開設年月日	昭和41年2月1日開設 (令和2年4月1日現地改築)	昭和45年4月2日開設 (平成15年4月1日現地改築)	平成29年4月1日開設
構 造	鉄骨造2階建	鉄骨造一部2階建	鉄骨造2階建
敷地面積 (㎡)	6,827	9,318	20,188
センター建物面積 (㎡)	4,804.39	2,994.82	6,529.82
その他施設面積 (㎡)	50.40	306.66	84.18
設置形態	単独施設	単独施設	単独施設
方 式	ドライ施設	ドライ施設	ドライ施設

3

(2) 学校給食共同調理場



親子方式:調理場を持つ学校(親)が調理場を持たない学校(子)の給食調理も行い、給食時間までに配送する方式。長野市の場合、小学校と中学校で親子となっている。※表中調理場が併設されているほうが親

区 分	戸 隠	鬼 無 里	大 岡	信州新町	中 条
所 在 地	〒381-4102 戸隠豊岡2960	〒381-4301 鬼無里77	〒381-2703 大岡乙304-1	〒381-2405 信州新町新町 630-1	〒381-3203 中条2770
開設年月日	昭和54年3月22日 開設	昭和56年4月3日 開設	昭和53年12月1日 開設	昭和55年2月開設 (平成21年8月22日 現地改修)	昭和52年4月1日 開設
構 造	(鉄 骨 造)	(鉄筋コンクリート造)	(鉄筋コンクリート造)	(鉄筋コンクリート造)	(鉄筋コンクリート造)
調理場面積 (㎡)	273.85	250.00	136.64	137.00	131.85
設置形態	中学校に併設	小中学校に併設	小中学校に併設	小学校に併設	小学校に併設
方 式	ウェット施設 (ドライ運用)	ウェット施設 (ドライ運用)	ウェット施設 (ドライ運用)	ウェット施設 (ドライ運用)	ウェット施設 (ドライ運用)

4

長野市の学校給食施設 (令和2年9月1日現在)

第四学校給食センター

小学校(19校): 緑ヶ丘 大豆島 柳原 古里 若槻 徳間 浅川
芋井 加茂 古牧 吉田 湯谷 朝陽 長沼 綿内
川田 保科 豊野西 豊野東
中学校(8校): 東部 西部 三陽 東北 北部 若穂 豊野 市立長野

第一学校給食センター(令和2年8月18日から給食提供開始)

小学校(16校): 城山 裾花 城東 南部 昭和
下氷鉋 真島 鍋屋田 山王 芹田
三輪 安茂里 松ヶ丘 青木島
三本柳 **七二会**
中学校(6校): 柳町 櫻ヶ岡 裾花 犀陵 **更北**
七二会

第二学校給食センター

小学校(14校): 通明 篠ノ井東 篠ノ井西 共和 信里 塩崎
松代 清野 西条 豊栄 東条 寺尾 川中島
信更
中学校(6校): 篠ノ井東 篠ノ井西 松代 川中島 広徳 信更

5

2 完全給食実施状況

完全給食: 給食内容がパン又は米飯(これらに準ずる小麦粉食品・米加工品・その他の食品を含む)、ミルク及びおかずである給食

(令和2年5月1日現在)

区 分	学校数 (校)	児童生徒数(人)	完全給食実施状況		完全給食実施率 (%)
			学校数(校)	児童生徒数(人)	
小学校	54	18,437	54	18,437	100
中学校	25	9,095	25	9,095	100
合 計	79	27,568	79	27,568	100

3 アレルギー対応食の提供

除去食: 通常の献立の材料から、アレルギーのみを除去し調理した食事。対応食専用の調理室で調理する。アレルギーの代わりに別の食材を用いる代替食とは異なる。

食物アレルギーをもつ児童生徒を対象に、従来の共同調理場での対応に加え、平成29年度から第二、第四学校給食センターでの卵と乳・乳製品の除去食の提供を開始した。令和2年10月からは第一学校給食センターでの除去食の提供も開始し、市内全域でアレルギー対応食の提供を行っている。

(令和2年10月1日現在)

	第一学校給食センター		第二学校給食センター		第四学校給食センター	
	小学校(人)	中学校(人)	小学校(人)	中学校(人)	小学校(人)	中学校(人)
卵	7	1	22	2	18	4
乳・乳製品	10	1	20	2	13	2
対象者数	15	1	33	3	28	5

※卵と乳・乳製品両方の対象となる児童生徒がいるため、それぞれの合計と対象者数は一致しない。

6

4 施設別給食数

(令和2年9月1日現在)

区 分	小 学 校		中 学 校		合 計	
	学校数	1日の給食数	学校数	1日の給食数	学校数	1日の給食数
第 一	16	6,996	6	3,088	22	10,084
第 二	14	4,291	6	2,923	20	7,214
第 四	19	8,174	8	3,522	27	11,696
戸 隠	1	109	1	66	2	175
鬼 無 里	1	34	1	20	2	54
大 岡	1	22	1	28	2	50
信州新町	1	103	1	58	2	161
中 条	1	60	1	35	2	95
合 計	54	19,789	25	9,740	79	29,529

※教職員を含み、センター・調理場職員を含まない

5 給 食 費

区 分		1食当たりの給食費(円)	年間平均給食日数(日)
小学校	低学年(1～3年)	275	201
	高学年(4～6年)	296	
中学校		338	200

7

6 給食費の推移(1食当たり)

(1) 学校給食センター

(円)

		平3～4	5～6	7～9	10～17	18～20	21～25	26～30	令和～
小学校	低学年	200	210	220	232	237	252	260	275
	高学年	220	230	240	253	258	273	281	296
中学校		260	270	280	294	299	314	323	338

(2) 戸隠学校給食共同調理場

(3) 鬼無里学校給食共同調理場

		平10	11～17	18～20	21～25	26～30	令和～
小学校	低学年	237	245	245	255	263	275
	高学年	247	255	260	270	278	296
中学校		269	280	285	300	309	338

		平9～10	11～13	14	18～20	26～30	令和～
小学校	低学年	225	235	245	255	263	275
	高学年	240	250	260	270	278	296
中学校		265	280	290	300	309	338

8

(4)大岡学校給食共同調理場

(円)

		平11～12	13	14～17	18～20	21～25	26～30	令和元～
小学校	低学年	233	236	240	245	255	263	275
	高学年	245	248	250	255	270	278	296
中学校		275	280	287	290	300	309	338

(5)信州新町学校給食共同調理場

		平11～17	18	19	20～21	22～25	26～30	令和元～
小学校	低学年	255	255	260	275	270	275	275
	高学年					280	290	296
中学校		270	280	280	300	300	321	338

(6)中条学校給食共同調理場

		～平10	11～13	14～16	17～19	20～25	26～30	令和元～
小学校	低学年	210	220	230	240	250	263	275
	高学年	230	240	250	260	270	278	296
中学校		260	270	280	290	300	309	338

9

7 調理施設職員構成



(令和2年9月1日現在)

施 設		第一	第二	第四	戸隠	鬼無里	大岡	信州新町	中条	合計
正 規	所長	1	1	1	1※1	1※1	1※1	1※1	1※1	8
	事務	2	1	2	0	0	0	0	0	5
	栄養士(県費)	3	3	2	1	0	0	1	1	11
	栄養士(市費)	2	1	1	0	0	0	0	0	4
	調理員	27	0※2	28	0	0	0	1	1	57
	小計	35	6	34	2	1	1	3	3	85
(県臨時任用職員含む) 会計年度任用職員	事務	1	2	1	0	0	0	0	0	4
	栄養士(県費)	0	0	1	0	1	1	0	0	3
	栄養士(市費)	0	1	1	0	0	0	0	0	2
	調理員	33	0	46	5	3	3	4	2	96
	小計	34	3	49	5	4	4	4	2	105
合 計		69	9	83	7	5	5	7	5	190

※1 戸隠・鬼無里・大岡・信州新町・中条の所長は学校長兼務 ※2 第二学校給食センターは、調理業務等を民間委託(51名)している

10

8 審議会等



(1) 長野市学校給食センター等運営審議会(市条例による審議会)

任 務	給食センター等の運営に関する事項について、教育委員会の 諮問に応じて審議する。
任 期	2年
構 成	25名以内 学識経験者、PTA関係者、学校長、学校医、学校歯科医 学校薬剤師、公募委員

※各調理場の会計監査も、運営審議会のメンバーから選出された監査員が行います。

(2) 長野市学校給食センター等運営委員会(給食施設ごと)

目 的	学校給食の円滑な運営を図るため、学校と給食施設との 連携を密にする。
構 成	各学校からの正副委員
会 議	定例会月1回(ただし、8月は休会)



11

9 給食の内容

- ① 主食
(米飯:週3日、パン:週2日、
ソフト麺:6~9月を除いてパンの代わりに隔週1日)
- ② 牛乳
- ③ おかず(煮物、焼物、揚げ物、汁物、果物など)



10 主食の提供状況

(1) 第二、第三、第四学校給食センター、信州新町共同調理場

米飯:週3日、パン:週2日、ソフト麺:6~9月を除いてパンの代わりに隔週1日

(2) 戸隠、鬼無里学校給食共同調理場

米飯:週3日、パン:週2日

(3) 大岡学校給食共同調理場

米飯:週4日、パン:週1日

(4) 中条学校給食共同調理場

米飯:週3日、パン:週2日、ソフト麺:6~9月を除いて米飯・パンの代わりに月2回(3月は1回)

12

11 献立

栄養士が原案を作成し、毎月の運営委員会に諮り決定する。
(2か月前に原案作成、1か月前の運営委員会に諮る。)



(1) 第一学校給食センター: 3コース(計22校)

小1コース 城山、裾花、城東、南部、昭和、下氷飽、真島、七二会(8校)
小2コース 鍋屋田、山王、芹田、三輪、安茂里、松ヶ丘、青木島、三本柳(8校)
中学コース 柳町、櫻ヶ岡、裾花、犀陵、七二会、更北(6校)

(2) 第二学校給食センター: 2コース(計20校)

小学コース 通明、篠ノ井東、篠ノ井西、共和、信里、塩崎、松代、清野、西条、豊栄、東条、寺尾、川中島、信更(14校)
中学コース 篠ノ井東、篠ノ井西、松代、川中島、広徳、信更(6校)

(3) 第四学校給食センター: 3コース(計27校)

小1コース 芋井、柳原、若槻、古里、大豆島、浅川、徳間、緑ヶ丘(8校)
小2コース 湯谷、加茂、長沼、吉田、古牧、川田、綿内、保科、朝陽、豊野西、豊野東(11校)
中学コース 西部、東部、北部、東北、三陽、若穂、豊野、市立長野(8校)

(4) 戸隠、鬼無里、大岡、信州新町、中条学校給食共同調理場

各調理場とも1コース(各小学校、中学校)

13

12 米飯給食の調理方法



北信産: お米は主にながの農協とグリーン長野農協から納入しています。ながの農協の範囲は長野市だけではなく、信濃町や飯綱町などのお米も混じることから、北信産と記載しています。

	第一	第二	第四	戸隠	鬼無里	大岡	信州新町	中条
炊飯	委託	委託	委託	自炊	自炊	自炊	委託	自炊
米穀	北信産	北信産	北信産	北信産	北信産	北信産	北信産	北信産

※旧長野市の米飯給食実施状況

- ① 昭和53年4月1日から隔週1日 ② 昭和55年4月1日から週1日
③ 昭和57年10月1日から週2日 ④ 平成元年4月1日から週3日 ⑤ 平成2年8月から麦5%混入

13 副食の配送及び回収方法

(令和2年9月1日現在)

区 分		配 送 方 法	車両台数	配送車両の所有者
センター	第 一	外部委託	11台	配送事業者所有
	第 二	外部委託	7台	配送事業者所有
	第 四	外部委託	15台	配送事業者所有
共同調理場	戸 隠	直営(庁務員)	1台	市所有(庁用車)
	鬼無里	—	—	—
	大 岡	—	—	—
	信州新町	直営(庁務員)	1台	リース事業者所有(庁用車)
	中 条	直営(庁務員)	1台	リース事業者所有(庁用車)

14

14 主食の量

(1) 第一、第二、第四学校給食センター



区 分		米 飯	パ ン	ソフト麺(小麦粉)
小学校	低学年(1・2年)	60g	60g	80g
	中学年(3・4年)	70g	3年 60g 4年 70g	3年 80g 4年 90g
	高学年(5・6年)	90g	70g	90g
中学校		100g	80g	110g

(2) 戸隠学校給食共同調理場

区 分		米 飯	パン(小麦粉)
小学校	低学年(1・2年)	1年 60g 2年 70g	60g
	中学年(3・4年)	80g	3年 60g 4年 70g
	高学年(5・6年)	90g	70g
中学校		100g	80g

(3) 鬼無里学校給食共同調理場

区 分		米 飯	パン(小麦粉)
小学校	低学年(1・2年)	70g	60g
	中学年(3・4年)	80g	3年 60g 4年 70g
	高学年(5・6年)	90g	70g
中学校		100g	80g

15

(4) 大岡学校給食共同調理場



区 分		米 飯	パン(小麦粉)
小学校	低学年(1・2年)	60g	50g
	中学年(3・4年)	3年 65g 4年 75g	60g
	高学年(5・6年)	5年 85g 6年 90g	70g
中学校		100g	80g

(5) 信州新町学校給食共同調理場

区 分		米 飯	パン(小麦粉)	ソフト麺(小麦粉)
小学校	低学年(1・2年)	60g	50g	80g
	中学年(3・4年)	70g	60g	3年 80g 4年 90g
	高学年(5・6年)	80g	70g	90g
中学校		100g	80g	110g

(6) 中条学校給食共同調理場

区 分		米 飯	パン(小麦粉)	ソフト麺(小麦粉)
小学校	低学年(1・2年)	60g	50g	80g
	中学年(3・4年)	80g	60g	3年 80g 4年 90g
	高学年(5・6年)	90g	70g	90g
中学校		100g	80g	110g

16

15 学校給食摂取基準(児童・生徒1人1回当たりの平均主要栄養量の基準)

区 分	1日の必要量に 対する比率	低学年 6～7歳	中学年 8～9歳	高学年 10～11歳	中学校 12～14歳
エネルギー(kcal)	33%	530	650	780	830
たんぱく質(g)	学校給食による摂取エネルギー全体の13～20%				
脂質(%)	学校給食による摂取エネルギー全体の20～30%				
ナトリウム(食塩相当量)(g)	33%未満	2未満	2未満	2.5未満	2.5未満
カルシウム(mg)	50%	290	350	360	450
鉄(mg)	40% (中学校:33%)	2.5	3	4	4
ビタミンA(ugRE) 範囲	40%	170	200	240	300
ビタミンB1(mg)	40%	0.3	0.4	0.5	0.5
ビタミンB2(mg)	40%	0.4	0.4	0.5	0.6
ビタミンC(mg)	33%	20	20	25	30
食物繊維(g)	40%以上	4以上	5以上	5以上	6.5以上
マグネシウム(mg)	33% (中学校:40%)	40	50	70	120
亜鉛(mg)	33%	2	2	2	3

17

16 運営経費

(単位:千円)

区 分	職員人件費	管理運営費	維持修繕費	施設改修(建設)費	計
職 員 人 件 費	527,319				527,319
第 一	学校給食 センター	308,860			308,860
第 二		322,460		88,765	411,225
第 三		37,862			37,862
第 四		376,957			376,957
戸 隠	学校給食 共同調理場	14,560			14,560
鬼 無 里		7,877			7,877
大 岡		8,394			8,394
信 州 新 町		14,730			14,730
中 条		9,173			9,173
給食共同調理場維持修繕			1,010	1,518	2,528
給食衛生管理		8,812			8,812
合 計	527,319	1,109,685	1,010	90,283	1,728,297

17 ゴミ排出量の推移

年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	令和年度
総排出量(kg)	264,281	272,397	281,060	275,821	269,499	257,789	233,035	242,312	234,385

18